

北海道地区国立大学法人等職員 オンライン合同説明会

試験区分 林学

令和6年3月2日（土）

国立大学法人北海道大学 北方生物圏フィールド
科学センター森林圏ステーション

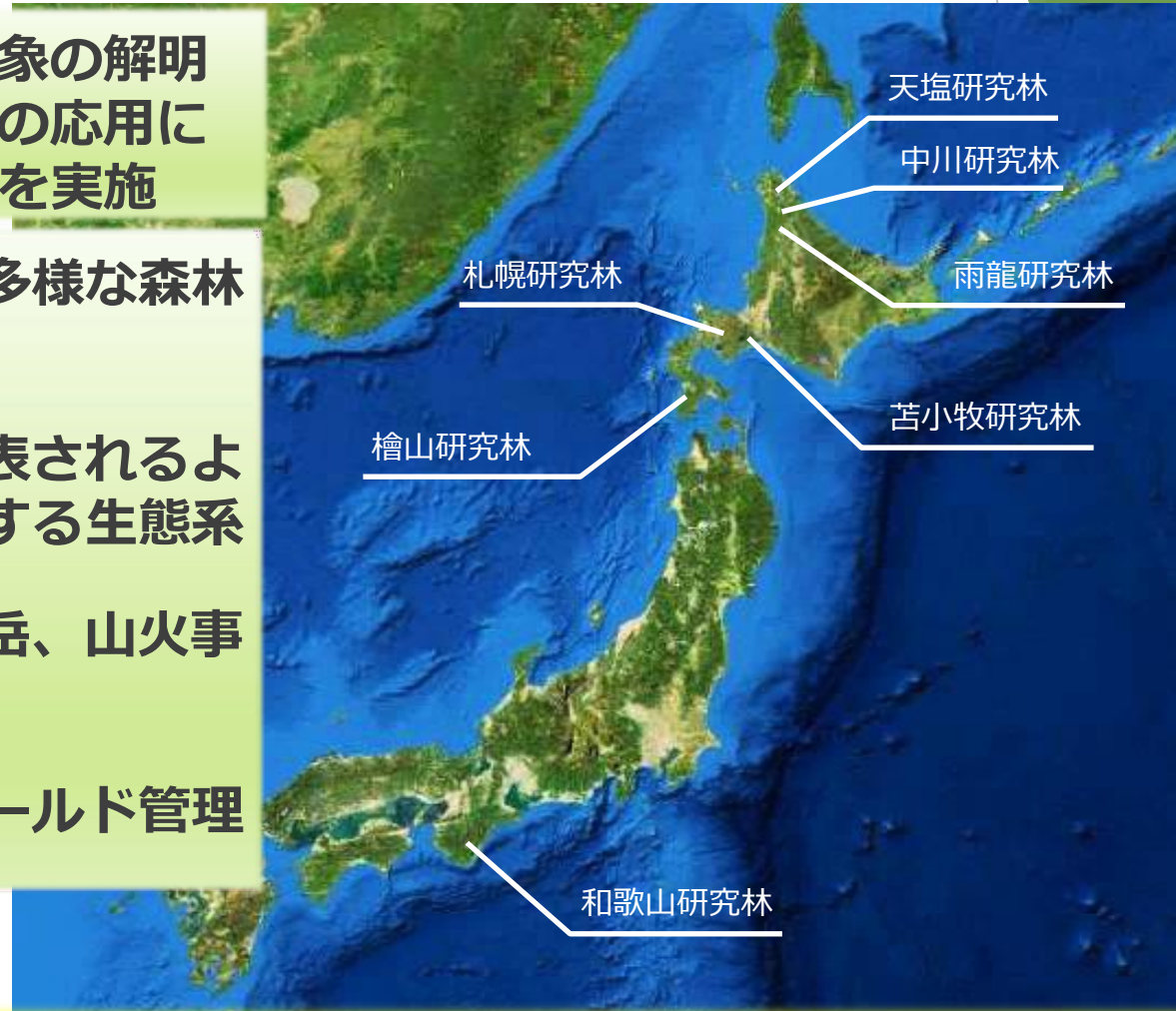
北方生物圏フィールド科学センター

- ▶ 2001年農学部、理学部・水産学部の附属施設が統合して設立。
- ▶ 森林－耕地・緑地－海域に関係する多くの施設やフィールドからなる学内共同利用施設（教育研究組織）
- ▶ 本センターは、森林圏、耕地圏、水圏の3つのステーションから構成。
- ▶ 森林圏（研究林）7施設
- ▶ 耕地圏（農場（含む余市果樹園）、植物園、牧場）3施設
- ▶ 水圏（臨海実験場、臨湖実験場、淡水実験所等）6施設
- ▶ 教育研究組織は、森林圏研究領域・耕地圏研究領域・水圏研究領域・統合研究領域の4つの領域
- ▶ 環境科学院・農学院において大学院教育、農学部や理学部、水産学部、獣医学部などの学部教育、総合講義やHUSTEP、一般教育演習などに携わる

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 森林圏ステーション（研究林）について

森林における未知の自然現象の解明と、その保全・資源管理への応用に至る多様な教育・研究活動を実施

- ・ 亜寒帯～暖温帯林までの多様な森林構成
- ・ オジロワシ・イトウに代表されるような豊かな動植物の生息する生態系
- ・ 湿原、湖、原始河川、山岳、山火事跡地等の多様な景観
- ・ 卓越した技術によるフィールド管理



**総面積 約7万ha (700km²)
一つの大学が所有する施設としては、世界最大！**

森林圏ステーション（研究林別） 職種別人員一覽

林 別	面積	教員	事務職員	事務補佐員等	技術職員	森林技能職員	森林技能職員	合計
		*1)	*2)	*3)	*4)	*5)	*6)	
	(ha)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
天塩研究林	22,517	2		4	5	8		19
中川研究林	19,364	2		3	7	7		19
雨龍研究林	24,913	1		2	5	9		17
北管理部		2	2	2	3		4	13
苫小牧研究林	2,705	3	1	4	5	5		18
檜山研究林	103	0		1				1
和歌山研究林	449	1		4	2	6		13
札幌研究林	99	0		0	1		1	2
南管理部		2						2
統括管理部				3	2			5
計	70,148	13	3	23	30	35	5	109
		*1) 教員	*2) 事務職員		*4) 技術職員			
			*3) 事務補佐員、技術補佐員、臨時用務員、用務補助員					
		*5) 森林技能職員(12ヶ月雇用)			*6) 森林技能職員(6ヶ月雇用)			

森林圏技術職員 組織図

		センター技術部							森林圏技術職員現在30名（男性26名、女性4名）
		技術部長 A							50歳以上 9名
									40～49歳 9名（女性1名）
									30～39歳 9名（女性2名）
									20～29歳 3名（女性1名）
									平均年齢 43歳
									耕地圏技術職員 農場21名 植物園7名 牧場6名
									水圏技術職員 7名
									企画調整室技術職員 4名（うち3名兼務）
センター技術部		副技術部長 B	副技術部長 C	副技術部長 D	副技術部長 F				
		耕地圏担当	森林圏担当	水圏担当	企画調整担当				
		*以下省略		*以下省略	*以下省略				
センター技術部		森林圏							
森林圏ステーション技術部		森林圏							
森林圏統括管理部		森林圏北管理部			森林圏南管理部				
技術長（兼）A		技術長 G			技術長（兼）C				
管理技術班		管理技術班	天塩研究林技術班	中川研究林技術班	雨龍研究林技術班	管理技術班	札幌研究林技術班	苫小牧・檜山研究林技術班	和歌山研究林技術班
班長（管理）A-2		班長（管理）G-2	班長（森林）G-5	班長（森林）G-10	班長（森林）G-16	班長（管理）C-2	班長（兼）A-2	班長（森林）（兼）C	班長（兼）C-7
		班員 G-3	班長（研究）（兼）G-2	班長（研究）G-11	班長（研究）G-17		班員（囑託）C-3	班長（研究）C-4	班員（囑託）C-8
		班員（囑託）G-4	班員 G-6	班員 G-12	班員 G-18			班長（檜山）（兼）C-2	
			班員 G-7	班員 G-13	班員 G-19			班員 C-5 班	
			班員 G-8	班員 G-14	班員 G-20			員（囑託）C-6	
			班員 G-9	班員 G-16					

職務内容

森林および施設の維持管理

(伐採・造林・林道・施設管理等の計画、監督、実行結果の整理)



▶ 天然林伐採 (チェーンソー伐倒)



▶ 地拵え (ブルドーザー)



▶ 急傾斜地における地拵え



▶ フォワーダによる集材



▶ プロセッサによる枝払い、玉切り

教育活動

(大学院・学部実習・社会教育活動等の企画運営・技術指導)



▶ 和歌山大学実習



▶ 森林管理署と技術交流会（雨龍研究林）



▶ 北の森づくり専門学院実習



▶ 実験用池（研究林制作）



▶ 林冠観測用のジャングルジム（研究林製作）

研究活動

(当ステーションが進めている研究課題の実施・支援
研究利用者への技術的な支援)



▶ オジロワシの営巣モニタリング



▶ 森林の炭素循環機能に関する観測研究 (天塩研究林、2001年～)



▶ 照査法試験林 (1967年設定) 全林每木調査



対外的な活動

(広報・地域連携、木材および林産物の販売等)



苫小牧市と苫小牧研究林が包括連携協定締結



生産物販売による地域活性化
品質の良い極々一部は、銘木市出展



一般市民対象の自然観察会



オリジナル木工品の販売



市民向けサイエンスカフェの開催

その他

- ▶ 転勤、森林圏ステーション（研究林）内の異動となる。
- ▶ 就業にあたり、必要な技能講習、作業免許を取得
- ▶ 地方施設には、北海道大学の職員宿舎有り。（へき地で生活し、職務を全う出来る者）
- ▶ 北方生物圏フィールド科学センターの技術職員は、教育・研究支援よりもフィールドの維持管理等の業務のウェイトが大きい。
- ▶ 事務職員が居ない地方施設も有り、会計、庶務の事務も行う。

北方生物圏フィールド科学
センター森林圏ステーション
ンでは、林業・教育研究に
関心のある方の応募をお待
ちしています

質問がありましたら、口頭、チャット
でお願い致します。

時間の関係で、全ての質問に答える事
が出来なかった場合は、
shinrin@fsc.hokudai.ac.jp まで
連絡をお願い致します。